

経済・港湾委員会報告事項

市場移転問題に関する経緯について

平成 29 年 8 月 23 日

中央卸売市場

## 【目 次】

- 資料 4-1 平成 29 年第二回定例会以降の主な動きについて . . . . . P 1
- 資料 4-2 「豊洲市場における土壌汚染対策等に関する専門家会議」について . . P 3
- 資料 4-3 「市場問題プロジェクトチーム」について . . . . . P 4
- 資料 4-4 「市場のあり方戦略本部」について . . . . . P 5
- 資料 4-5 平成 29 年 6 月 20 日発表の「基本方針」 . . . . . P 6
- 資料 4-6 平成 29 年 6 月 22 日開催の市場移転に関する関係局長会議 . . . . . P 7
- 資料 4-7 平成 29 年 7 月 21 日開催の市場移転に関する関係局長会議 . . . . . P 8
- 資料 4-8 「豊洲市場に関わる環境影響評価書の変更届」について . . . . . P 12

## 平成 29 年第二回定例会以降の主な動きについて

## 主な動き

平成 29 年 6 月 11 日

豊洲市場における土壌汚染対策等に関する専門家会議（第 6 回）再開

- ・ 地下ピットにおける水銀等ガス濃度上昇防止対策（2 案）、地下水管理システムの機能強化対策等の取りまとめ

平成 29 年 6 月 15 日

市場のあり方戦略本部（第 3 回）

- ・ 「市場のあり方」について、議論
- ・ 11 市場全体で見た市場運営のあり方の検証
- ・ 中央卸売市場会計の持続可能性の検証

平成 29 年 6 月 16 日

市場のあり方戦略本部（第 4 回）

- ・ 豊洲市場の課題への対応（「無害化」の議論の整理、安全・安心確保に向けた取組、事業継続性確保に向けた収支改善策）
- ・ 専門家会議における対応策 → 地下ピット対策は案 2（ピット床にコンクリート敷設）を採用

平成 29 年 6 月 17 日

小池知事の築地市場訪問

- ・ 無害化達成の約束が守れていないことについて、築地市場業者に陳謝

平成 29 年 6 月 20 日

基本方針の公表

- ・ 築地市場は長年培ったブランド力と地域との調和を生かし改めて活用する。
- ・ 地下空間の追加対策、地下水管理システム補強策などの安全対策を講じた上で、豊洲市場を活かす。
- ・ 豊洲市場は、中央卸売市場として、冷凍冷蔵・加工等の機能を強化し、IT を活用した総合物流拠点とする。
- ・ 東京都は、事業者の皆様、都民の皆様の信頼回復に徹底的に取り組む。

平成 29 年 6 月 22 日

市場移転に関する関係局長会議

- ・ 基本方針を踏まえて推進すべき事項を整理

平成 29 年 6 月 22 日

知事と築地市場業界団体代表との会談

- ・ 基本方針について説明。意見交換

平成 29 年 7 月 7 日

知事と農林水産大臣との会談

- ・ 基本方針や追加対策工事について説明。認可への協力を要請

平成 29 年 7 月 21 日

**市場移転に関する関係局長会議**

- ・ 関係各局における課題や進捗状況等を報告
- ① 築地市場の豊洲市場への早期移転の円滑な実施
- ② 東京 2020 大会に向けた準備の推進
- ③ 築地の再開発に向けた検討
- ④ 豊洲市場移転・築地再開発全体の財政収支の観点からの検討

平成 29 年 7 月 28 日

**第 20 回新市場建設協議会**

- ・ 市場移転に関する取組状況及び今後の進め方について、築地市場業界へ報告

平成 29 年 8 月 4 日

**市場問題プロジェクトチーム（第 11 回）**

- ・ 専門家会議が取りまとめた「豊洲市場における対応策」について、セカンドオピニオンとして検証を実施

平成 29 年 8 月 10 日

**東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価書変更届を環境局に提出**

- ・ 変更届は、主要な建物下について盛土に代えて地下ピットを設置したことから、当初の環境影響評価書(平成 23 年 7 月)と比較し、改めて予測・評価

## 「豊洲市場における土壌汚染対策等に関する専門家会議」について

## 位置付け

生鮮食料品等を扱う豊洲市場において、食の安全・安心を確保する観点から、改めて土壌汚染対策について専門家により検討を行うため設置

## メンバー

平田 健正／放送大学和歌山学習センター 所長【座長】  
駒井 武／東北大学大学院環境科学研究科 教授  
内山 巖雄／京都大学 名誉教授  
\* オブザーバー：専門委員(小島 敏郎／市場問題PT座長)  
\* 事務局：国際航業株式会社 フェロー 中島 誠

## 開催状況

平成 28 年 10 月から平成 29 年 6 月まで会議を 6 回開催

## 専門家会議の提言（概要）

- 1 地下ピット内での水銀等ガス濃度上昇防止対策について  
地下ピット内での水銀等ガス濃度上昇防止対策は、以下の 2 案が示され、いずれの案も対策として必要とされる効果を得られるものと評価  
<地下ピット内での水銀等ガス濃度上昇防止対策の概要>  
案 1 ①遮蔽シートにより、ガスの侵入を大幅に低減  
②換気により、ガスの濃度上昇を防止  
案 2 ①換気によりガスの濃度上昇を防止  
②コンクリートにより、ガスの侵入を低減
- 2 地下水管理システムの機能強化について
  - ・揚水機能が低下した井戸の洗浄及びポンプ交換
  - ・地下ピット内に新たに揚水ポンプを設置
  - ・地下水位の観測井戸に揚水ポンプを設置し揚水井戸として活用
  - ・地下水位が高い箇所において、吸引管を打ち込み真空ポンプで揚水を実施
- 3 その他の対策
  - ・今後のモニタリング計画
  - ・補助 315 号線連絡通路部の水銀等ガス濃度上昇防止対策

## 「市場問題プロジェクトチーム」について

## 位置付け

- 築地市場の豊洲市場への移転及び市場の在り方に関し、豊洲市場の土壌汚染、施設及び事業に関する事項等について検討し、その結果を知事に報告するため設置

## メンバー

- （座長）小島敏郎／青山学院大学元教授　ほか東京都専門委員7名  
\*平成29年8月10日現在

## 検討事項

- 豊洲市場の施設の安全性、機能
- 豊洲市場の事業継続性
- 豊洲市場の液状化対策、土壌汚染対策
- 築地市場の補修等

## 開催状況

- 第1回会議（平成28年9月29日）
  - ・市場問題プロジェクトチーム発足の趣旨
  - ・築地市場から豊洲市場への移転の経緯 など
- 第2回会議（平成28年10月25日）
  - ・豊洲市場の建物の構造安全性について
- 事業者ヒアリング（平成28年11月15日）\*水産物部、関連事業者等
- 第3回会議（平成28年11月29日）
  - ・豊洲市場の施設の安全性、機能について（物流関係）
- 事業者ヒアリング（平成28年12月14日）\*青果部関係者
- 第4回会議（平成28年12月21日）
  - ・豊洲市場の施設の安全性、機能について（温度管理・衛生管理）
- 第5回会議（平成29年1月25日）
  - ・豊洲市場の事業継続性、業者の負担と事業継続性など
- 第6回会議（平成29年2月23日）
  - ・築地市場の補修など
- 第7回会議（平成29年3月29日）
  - ・豊洲市場の液状化対策など
- 第8回会議（平成29年4月26日）
  - ・市場問題プロジェクトチーム第1次報告書素案について
- 第9回会議（平成29年5月24日）
  - ・市場問題プロジェクトチーム第1次報告書案について
- 第10回会議（平成29年6月5日）
  - ・市場問題プロジェクトチーム第1次報告書案について
- 第1次報告書を知事に手交（平成29年6月13日）
- 第11回会議（平成29年8月4日）
  - ・豊洲市場の土壌汚染対策など
- 第2次報告書を知事に提出（平成29年8月10日）

## 「市場のあり方戦略本部」について

### 位置付け

- 豊洲市場における土壌汚染対策等に関する専門家会議や市場問題PTによる検証の成果を集約した上で、市場の将来的なあり方など、残された諸課題を含めた総点検を行い、ロードマップにおける知事の「総合的な判断」の材料を整えるための庁内検討組織として設置

### メンバー

本部長：中西副知事      副本部長：中央卸売市場長  
 本部長：政策企画局長、総務局長、財務局長  
 事務局長：中央卸売市場次長      ※ テーマに応じて、関係局も参加

### 検討事項

- 以下の3つのテーマで総点検を行う
  - ① 都民の理解と納得                      ② 豊洲・築地市場の課題
  - ③ 市場の将来的なあり方

### 開催状況

- (1) 第1回会議（平成29年4月3日）  
知事訓示、今後の進め方（ヒアリング等）
- (2) 第2回会議（平成29年4月27日）
  - 1 市場移転問題にかかる諸課題の整理  
卸売市場の役割と都の現状、移転検討の経緯、専門家会議・市場問題PTの検討経過、築地市場と豊洲市場の現状比較（課題整理）
  - 2 課題の検証  
豊洲市場の課題への対応（検討状況）、築地改修（現在地再整備）における課題、中央卸売市場会計の持続可能性の検証
- (3) 第3回会議（平成29年6月15日）
  - 1 「市場のあり方」について  
市場を取り巻く状況の変化、利用者から見た市場のあり方
  - 2 11市場全体で見た市場運営のあり方の検証
  - 3 中央卸売市場会計の持続可能性の検証
- (4) 第4回会議（平成29年6月16日）
  - 1 豊洲市場の課題への対応  
「無害化」の議論の整理、安全・安心な市場のための対応策、事業継続性確保に向けた努力
  - 2 築地改修案（現在地再整備）について

## 平成 29 年 6 月 20 日発表の「基本方針」

- 豊洲市場の状況・課題
- 築地市場の状況・課題
- 方針① 築地再開発
- 方針② 豊洲市場の機能強化
- 方針③ 東京都の信頼回復のための行動

## 3つの基本方針

- ① 築地市場を5年後を目途に再開発する。環状2号線は五輪前に開通させ、当面、五輪用のデポ（輸送拠点）として活用。その後、「食のテーマパーク」機能を有する新たな場として東京を牽引する一大拠点とする。
- ② 豊洲市場は、冷凍冷蔵・物流・加工等機能を強化し、将来にわたる総合物流拠点とする。
- ③ 築地の再開発および豊洲市場利用の具体案を、事業者および都民とのオープンな場を設け、広く情報公開しながら検討する。東京都は、業者の皆さま、都民の皆さまからの失った信頼を回復するよう徹底的に努力する。



## 平成 29 年 6 月 22 日開催の市場移転に関する関係局長会議

## メンバー

知事、全副知事、東京都技監（都市整備局長兼務）  
中央卸売市場長、政策企画局長、総務局長、財務局長、  
オリンピック・パラリンピック準備局長、環境局長、  
建設局長、港湾局長

- ・ 基本方針を踏まえて推進すべき事項を整理
- ① 築地市場の豊洲市場への早期移転の円滑な実施  
追加対策工事の実施、環境アセスメント手続、農林水産大臣認可申請、施設の使い勝手向上策の実施、都民・事業者への丁寧な説明と豊洲市場の風評被害の払拭
- ② 豊洲地区のにぎわい創出に向けた取組  
千客万来施設の整備、周辺緑地の活用
- ③ 環状 2 号線の五輪前の開通に向けた取組
- ④ 築地市場跡地のオリ・パラ輸送拠点としての整備に向けた調整
- ⑤ 築地の再開発に向けた検討  
都民・事業者からの意見聴取、開発コンセプト、開発手法、開発スケジュール
- ⑥ 豊洲市場移転・築地再開発全体の財政収支の観点からの検討

## 平成 29 年 7 月 21 日開催の市場移転に関する関係局長会議

## 市場移転に関する関係局長会議（6月22日）における知事の指示内容

- 豊洲市場への早期移転に全力で取り組むこと
- オリンピック・パラリンピックに向けた、環状2号線や輸送拠点整備について、関係機関との調整を進めること
- 築地のロケーションを最大限に活かした再開発に向けて、夢のある姿を導き出すこと

## 豊洲市場への移転に関する基本スタンス

## 1 豊洲市場について

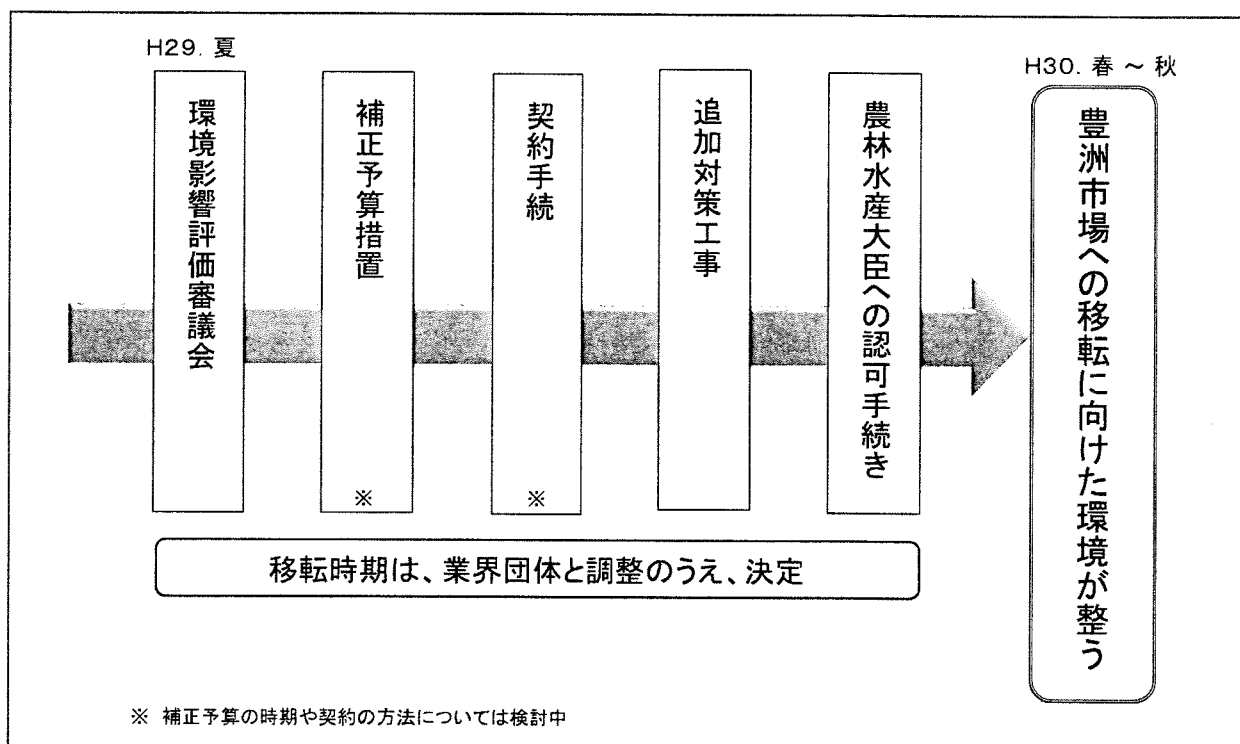
- 豊洲市場への早期移転を円滑に行うことを最優先事項とする。
- 豊洲市場は、継続的に中央卸売市場として運営していくとともに、日本の中核市場として育てていく。
- 移転後は、千客万来施設も含め、市場業者の方や地元の皆様とともに、豊洲地区の賑わいを創出していく。

## 2 築地再開発について

- 再開発に当たっては、築地エリアが有する食文化、浜離宮、水辺といったポテンシャルを活かして、多様な観点からまちづくりを検討し、経済合理性を確保しつつ民間主導で進めていく。
- 今後、幅広く都民や民間からのアイデアを募集するとともに、豊洲へ移転した後の状況も踏まえながら、ステップを踏んで検討する。

# 1 築地市場の豊洲市場への早期移転の円滑な実施

豊洲市場の開場に向けたスケジュール・イメージ



## < 「無害化」への対応 >

- ・ 都議会における付帯決議により、「無害化＝環境基準以下」を約束  
(平成 22 年 3 月)
- ・ 第 9 回地下水モニタリングの結果、72 か所で環境基準値超過
- ・ 専門家会議は、対策（(1)地下ピット対策、(2)地下水管理システムの機能強化）を提言。これにより、
  - ①盛土があれば果たされるはずだった機能を確保
  - ②汚染地下水を徐々に回収し、地下水汚染を徐々に浄化
 ⇒ しかし、環境基準以下を目指すことは難しいとの見解

### 豊洲市場用地の土壌汚染対策に係る「無害化」に代わる新たな方針

- 環境基準を達成できていない現状を真摯に受け止め、その反省を踏まえたうえで、安全で安心な市場の実現に向け、専門的・科学的で妥当な対策を講じる。
- 追加対策工事の着実な実施により、地上の安全に万全を期する。
- 地下水管理システムの適切な運用により、地下水位を管理するとともに、同システムの揚水機能を発揮し、中長期的に水質の改善を図る。
- 専門家会議の助言に基づき、地上部の大気や地下水の水質を測定し、正確な情報発信を通じて、都民や事業者の理解と安心に繋げていく。

### ＜追加対策工事の実施＞

- ・ 補正予算成立後、速やかに契約手続きに入る。
- ・ 契約締結後の工事期間は約 6 か月
- ・ 工事完了時、専門家会議による確認を実施

### ＜農林水産大臣認可申請＞

- ・ 追加対策工事等の進捗を踏まえ、円滑に認可が得られるよう調整を進める。

### ＜施設の使い勝手向上策＞

- ・ 6 街区 ターレスロープ⇒カーブミラーの大型化  
車両出入口のカーブ⇒車両動線の改善について検討
- ・ 交通アクセスの向上

### ＜豊洲市場の風評被害払拭に向けた取組について＞

豊洲市場への移転・開場に向け、豊洲市場の実態を正しく伝えて誤解を解消するとともに、新しい市場としての機能を含めた魅力を積極的に発信していく。

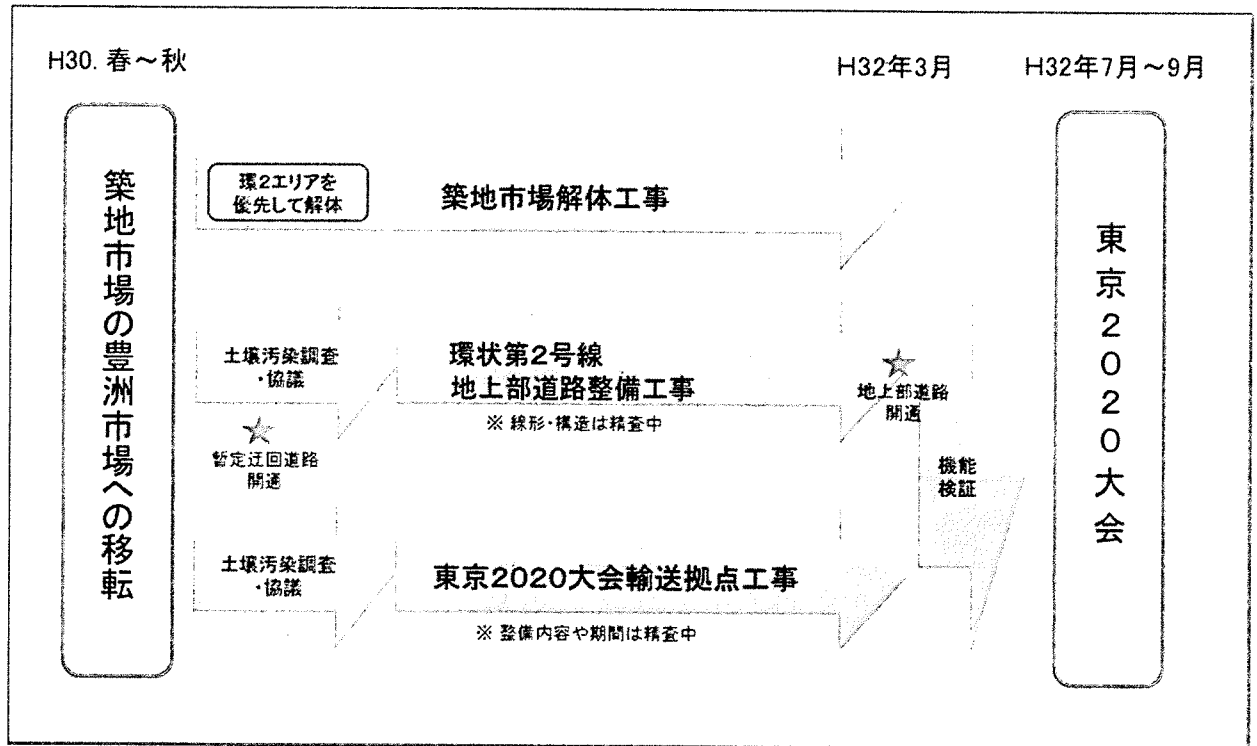
- ・ 豊洲市場を多くの人に直接観てもらおう。
- ・ 豊洲市場に関するデータをフルオープンにしていく。
- ・ 産地から消費者まで対象別に効果的な P R を実施

### ＜豊洲地区のにぎわい創出に向けた取組＞

- ・ 千客万来施設は、豊洲ならではの活気やにぎわいを生み出す、豊洲市場にとって必要な施設であり、施設の整備に向けて、事業者との調整を精力的に進める。
- ・ 江東区が管理する豊洲ぐるり公園と一体的に屋上緑化広場を開放するなど、にぎわい創出に向けて様々な取組を検討していく。

## 2 東京2020大会に向けた準備の推進

築地市場跡地の東京2020大会開催に向けた整備想定スケジュール・イメージ(解体・環2・輸送拠点)



## 3 築地の再開発に向けた検討

- 築地市場の跡地は、市場会計の持続可能性を担保するため、経済合理性を確保しながら、民間主導により、再開発する方向で検討を進める。
- 将来、築地に戻ることを希望する仲卸業者に応えるための方策に関する検討を、豊洲市場移転後の状況を踏まえながら行う。
- 築地のロケーションを最大限に活かすため、場外市場や浜離宮などの周辺環境を含めた一体的な活用など、魅力ある築地の将来像を検討するとともに、都民から広くアイデアを募り、民間の知恵やノウハウを活用しながら、豊洲市場の千客万来施設事業との整合を図りつつ、開発コンセプト等を具体化していく。

## 4 豊洲市場移転・築地再開発全体の財政収支の観点からの検討

- 市場会計が長期にわたり事業継続性を確保できるよう、財政面からの精査を進める。

## 「豊洲市場に関わる環境影響評価書の変更届」について

豊洲新市場建設事業にかかる環境影響評価について、本年8月10日に環境影響評価書の変更届を提出

### 経緯

平成23年7月 環境影響評価書を提出（建物下に盛土を行うことが前提）  
 平成28年9月 専門家会議を設置し、盛土がない状態での必要な対策等を検討開始  
 平成29年6月 専門家会議で追加対策案をとりまとめ  
 平成29年8月 変更届を提出

### 変更届の主な内容とポイント

#### (1) 事業計画変更の概要

##### ① 土壌汚染対策計画

「建物下に盛土をするという計画」から「今回の専門家会議を踏まえた盛土に代わる対策」への内容変更

- ・ 主要建物下の盛土を地下ピットに変更
- ・ 盛土に代わる対策として地下ピットにコンクリート打設と換気設備を設置
- ・ 地下水管理システムの機能強化

##### ② 施工計画

追加対策工事による工事用車両の台数等、工事工程や工事内容を変更

#### (2) 事業計画の変更に伴う主な環境への影響評価について

##### ○ 水質汚濁、土壌汚染

- ・ 地下ピット内の対策は専門家会議で盛土に代わる機能を有すると評価
- ・ 街区の周囲を遮水壁で囲み地下水移動を遮断するとともに、機能強化された地下水管理システムで、中長期的に水質を改善
- ・ 追加工事に伴う排水は処理した上で公共下水道へ放流するとともに、工事に伴う掘削土壌等は法令に基づき適切に処理・処分

⇒ 計画地の地下水や土壌の管理について、当初の評価書と同様に適切に行うことから、水質や土壌に関して環境への影響は小さい。

##### ○ 廃棄物

- ・ 追加対策工事に伴い、建設発生土及び建設廃棄物の発生量が増加するが、発生量の抑制、再資源化の促進、適正な処分を行い、廃棄物は適切に処理され環境への影響は小さい。